



# 県内主要産業の動向

2018年11・12月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	18年10月	18年11月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は低調に推移。飲食店など業務用の動きは鈍いが、「ふるさと納税」の返礼品としての受注は最盛期を迎え、繁忙な先もみられる。組合では、2月にドイツで開催される世界最大の見本市に出展予定。国内需要が低迷する中で、産地の技術力や品質のPRを図り、海外での販路開拓を目指す。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は総じて低調。食品工場などで異物混入防止等から金属製の調理器具等に引き合いがみられるものの、動きは鈍い。100円ショップ向けは新規出店増加に伴う受注も一部みられる模様。海外の日本食ブームから包丁などの輸出は引き続き好調。
作業工具	◐	◐	→	国内販売は、秋の需要期で堅調な動き。しかし足下では、米中摩擦の影響による中国製品の流入で建築関連工具類の一部に失速感が出ている。輸出は、東南アジア向けを中心に堅調。人手不足対応として、省力化・自動化のためのロボット導入を本格的に検討する企業もみられる。
電子部品 ・デバイス	○	◐	→	受注は弱含みに転じている。半導体製造装置向けは、これまでの増勢基調が一服。携帯端末向けは、スマホの販売が伸び悩んでいることから、受注に下押し圧力がかかっている。米中摩擦や海外経済の減速懸念などを背景に先行きの見通しを慎重にみる向きが多い。
鋳物	○	○	→	受注は総じて堅調。中国向けは景気減速による落ち込みがみられるものの、工作機械関連、半導体関連が好調を維持。建設関連では東京五輪と災害復興関連の需要が下支えしている。足下では、原材料等の価格が依然高止まりし、慢性化する人手不足による労務費増加が課題に。
金型	○	○	→	受注は総じて堅調。建築金物は首都圏のビル向けが引き続き好調。季節商品の暖房機器は例年並みで推移。自動車関連では見積先からの成約率は増加傾向ながらも勢いを欠くとの声が聞かれた。先行きについては、海外経済の減速懸念から慎重な見方が多い。
一般機械	○	○	→	内需は、航空機・金属素材が変わらず好調、幅広く省人化投資の引き合いもあり、単月受注も前月並み。外需は、米国で航空機・宇宙関連が堅調で大口受注もあるが、自動車は新NAFTAが投資判断を慎重にさせることを懸念する声も聞かれる。中国は、調整局面入りも一定水準を維持。



業種	景況			コメント
	18年10月	18年11月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地の受注は、総じて低調。展示会等イベントが少なく、集客も前年並みにとどまり、盛り上がりには欠ける。五泉産地は、主力である白生地生産量が前年を下回った。原材料費の高止まり、職人の高齢化や後継者不足など両産地の抱える課題は多く、先行きに不透明感が増している。
合織織物	●	●	→	春物生産最盛期。店頭では低迷が続くが、各地展示会への積極展開と事後の営業活動により、受注は前年並みを確保。シーズン終了の3月まで追加受注に期待している。そうした中、栃尾産地では、トウモロコシ由来のエコ素材が全国見本市で関心を集め、問い合わせが来ている。
ニット	●	●	→	春物受注・生産期。平年を上回る気温が続き、店頭は防寒着が苦戦したがニット類には動きあり。展示会後の営業活動も奏功し受注は総じて例年並みを確保。アパレルからの要請は技術面と納期面で厳しく対応に苦慮。足下では、原材料のウール価格が高騰しており、収益への影響を懸念する声が聞かれた。
木工家具	●	●	→	業務用では、年末商戦に向けた動きは乏しく散発的な受注にとどまる。足下では、飲食店舗関連を中心に動きがあり大型受注も出ている。家庭用では、商工団体が地元ブランド品販売イベントを首都圏で行い相応の成果がみられた。各業者も大型催事に出席し製品PRを図るが受注獲得に苦慮。
清酒	●	●	→	11月の出荷量は、県内・県外向けとも前年を下回った。販路別では、飲食店向けが引き続き不振でスーパー向けも伸び悩んでいる。酒類別では、吟醸酒、純米酒、本醸造酒で落ち込みが目立つ。足下では、12月の最需要期を迎えているが、出荷の伸び悩みを指摘する声が多い。
米菓	◐	◐	→	11月の売上は前年をやや上回った。気温の低下を受けて、定番品、新商品が堅調に推移。足下では最需要期を迎え、定番品に加えおつまみ向け商品が伸びている。そうした中、一部メーカーでは消費者の高級志向に合わせ、ブランド米を使った商品を投入する動きがみられた。
建設	◐	◐	→	公共工事は、今年度当初予算の発注が進み安定基調にあるが、年度末にかけて工事不足を懸念する見方もある。民間工事は、製造業・医療福祉などで底堅い動き。住宅建設は、消費税率引き上げが予定されているものの、着工ベースでは盛り上がりには欠ける状況が続いている。
大型小売店	◐	◐	→	11月の売上は前年を上回った。月後半の気温低下が寄与した。高級ブランドと化粧品は引き続き好調だが、衣料品は弱い。食品は野菜価格の低下が下押ししているものの、総体では前年並み。家電は暖房機が好調だが、4K・8Kテレビはチューナーの価格低下待ちで動きが鈍い。